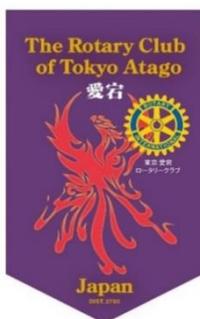


No. 6 2013/10/29

# WEEKLY REPORT 2013~2014



## 東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹  
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次  
副会長 波多野まみ  
例会場 東京アメリカンクラブ  
例会日 毎週火曜日 8:00~

### ■本日の卓話

株式会社プロノバ代表取締役  
グロービス経営大学院教授  
岡島 悦子様  
(石渡美奈会員 ご紹介)

### ■前回のトピックス

10月15日(火)東京恵比寿ロータリークラブ  
松島トモ子様歌唱指導にお越しく  
さいました。

### ■10月15日(火)会長挨拶 会長 尾関 勇

松島トモ子様、早朝より歌唱指導を賜り大変ありがとうございます。直接指導いただけるとは本当に幸せでございます。また東京西RC岩城先輩、ありがとうございます。22日は、宮司さんが東京西RCのメンバーである愛宕神社さんへ、参拝に参ります。また、ホテルオークラが例会場であり、ぜひメイクアップにもどうぞとおっしゃっていただきましたので、皆さんも行かれてみてはいかがでしょうか。今日は、異議なしとのいうことで、まずはゲストという立場でサイ ポールさんへお越しいただきました。彼のような立場で、まだ2750地区HPにもクラブ掲載がないにもかかわらず、探してきていただき、私たちのジェネレーションでお父様がロータリアン。ロータリーの奉仕のDNAを引き継いでいくには、インフォメーションをして私たちもそういった方々にスタイルを合わせたロータリーの活動ができればいいなと思っています。私もあまり国境ですとかジェンダー、性別や考え方の違いを超えて集まれることが何よりも素晴らしいと思っていますし、ロータリーの伝統を守りながらしっかりと新しいことにチャレンジしていきたい。私たちの子供たちの世代というのは、今もそうなのではないかと思いますが、ほぼ情報も国境なくなっています。何が大切かという自分のアイデンティティなのかなど。そういった意味で色々な方々に学ぶことは多いので、日本人とか、知り合いだけで集まらず、価値観を広げていきたい、また皆さんでそのような場に広げていきたいと思っています。残り一週間となったチャーターナイトに向けて、ぜひ皆様ご協力をお願いします。

### ■10月15日(火)のイニシエーションスピーチ 東京愛宕ロータリークラブ 幹事 佐藤 秀樹 インベスコ投信投資顧問株式会社 代表取締役社長兼CEO

本日は、まず初めに会社紹介、運用業界とは何か、最後に、我々がどうやって難しいものを一般の方が取り組んでいけるようにしていくのかお話ししていきたいと考えています。私のやっている資産運用は、英語でバイサイドビジネスと言われていますが、アメリカでは特にリーマンショックの前までは、例えばハーバートやスタンフォードを出ている人たちは



MBAを取るなどして、皆さん投資銀行系に入ることが一流と呼ばれていた時代がありました。今でもアメリカのエリートのトレンドとしては、バイサイドビジネス、我々のような資産運用ビジネスに入ってくる人がエリートだと言われています。特にその中でもヘッジファンドに入るのが、アメリカの優秀な学生の憧れ。日本では、まだまだ運用業界は全然知られていません。たいてい、大学の新卒が入るとすると、保険会社、お母さんお父さんが喜ばれるのが銀行、という形で、あまり馴染みがない業界です。ですので、少しでもわかりやすく説明できればと思います。また最後にお話ししますが、日本においては、運用で稼ぐことはよくないという感覚を持っている方が多い。それは間違いです。お金の汗をかかして稼ぐことは正しい事だと我々は考えています。特に、日本のように高齢化が進んでいくときに、結局皆さんが豊かになるためにはどうするのがいいか、それは日本にある1千500兆と言われていた皆さんの個人金融資産が2倍3倍になれば、どんどん豊かになっていくんです。成熟した社会、豊かにしていくために運用は非常に大切です。では、まず私の会社について説明します。まずインベスコの会社はアトランタに本社があり、アメリカに上場しています。今現在、全世界で75兆円くらいの運用をしています。これは日本の野村アセットなどに比べても大きいんです。我々は運用だけを中心にやっています。そして世界中に拠点があるため、出張で飛び回る必要があるのです。グローバルに見ても、運用会社のトップ10には入ってきています。世界ではどんな位置づけにあるのか。日本で一番売れているファンド、アメリカのリートファンドがあり、その運用を全てまかなっているのが私たちです。これだけで軽く1兆円となっています。日本人が、他の2社と合わせてアメリカのマーケットの3~5%を握っているのです。また、債券の運用としては世界第2位です。欧州・英国では、1番の規模を誇っています。またアジアでは、中国株で第1位となっております。今いる会社は、120名程、日本では2兆5千億運用しています。業績も順調に運用しています。私は昨年8月よりこの会社に来ていますが、そこから見ても、順調に伸びてきている状態です。さて、運用会社とは何なのか。私が皆さんに強調したいこと。金融業界の会社の中で、唯一皆さんの利益と私たちの利益は一緒なんです。というのも、皆さんから1万円頂きます。運用します。それがあれば皆さんはハッピーです。私たちも、その分増えた分だけお金を頂けるのでハッピーです。いい関係です。よくあるのが、証券会社などと皆さんがやった取引が一緒とは限らない。証券会社が儲けて、皆さんは損して

しまうケースがあるわけです。その点でいうと、資産運用会社は、いいビジネスだと思います。また、運用会社というのは社会的基盤なんです。私もそうですが、皆さんの年金があります。これは日本でいうGPIFというところが運用しているのですが、我々も委託をしています。日本は大変なことが起こっています。それは、皆さんの年金がどんどんなくなり始めています。特に、厚生年金基金と呼ばれているもの、その総合型が今回の決議で解散ができるようになりました。今、すごい勢いで年金が解散しています。間違いなく、私たちの老後は今の方がもらえる額はもらえません。そのくらい日本の資産運用は行き詰っているのです。そして、銀行との比較ですが、銀行のモデルと何が違うのかというと、巨大な資本を使ってお金を貸して、それで利息を取って儲かる、という流れ。我々運用会社は、あくまで皆さんからのお金を頂いて、預かって、その手数料をもらって大きくなったお金を皆さんへお返しする、という人が重要なビジネスです。

また、認知度を高める広告活動を行い、日本での運用額の8割が70歳以上の高齢者がお持ちになっています。同年代の我々世代は、ほとんどお金を持っていません。ですが、その上の世代が少しでもこういうものを買っていただき豊かになって、それを相続し次の世代に繋げることが必要なと思います。最後に、イニシエーションスピーチは自分のことも話す必要があるので、私の紹介を致します。元々小さいころにアメリカに住んでいて、一応日本の学校は全部出ています。新卒で三井物産に入りましたが、1年半で挫折、同期第一号で辞め、そこから今年で外資系20年になります。本当に厳しい世界ですが、よく耐えたと思います。中々日本の中にあっても、日本の論理ではいけない部分があり、そのギャップは日本人には理解できないと思います。日本とアメリカの間に立つ人間になる必要がある、そうすれば、その論理の中に日本人も入っていけると、そういう存在になれればと思います。



◆◆ 前回のニコニコBOX ◆◆ ¥16,000  
累計総額 ¥330,000

皆様、チャーターナイト、おつかれさまでした。  
無事盛会に終わり、思い出に残る一日となりました。

- ・松島様、本日は歌唱指導をありがとうございました。Alex、イニシエーションスピーチを楽しみにしています。(柳)
  - ・本日、松島トモ子さんとお会いするのを楽しみにしておりました。私は松島さんと同じ7月10日生まれで、“納豆の日”生まれです。幼い頃から勝手に親近感を覚えていた方とお会いするのは夢のようです！本日はありがとうございます！(川井)
  - ・従姪が合唱コンクールで銀賞を取りました。(齋藤)
  - ・松島トモ子様、本日は歌の歌唱指導ありがとうございます。エレガントな松島様にうっとりです！(佐藤ますみ)
  - ・松島トモ子様、本日はご指導ありがとうございます。(塩沢)
  - ・松島トモ子先生、本日は歌のご指導ありがとうございました。自信が持てました。(片山)
  - ・先日はバハマで会社の会議がありました。素晴らしい場所でした。来週はいよいよチャーターナイトですね。頑張りましょう。(Alex)
  - ・松島さん、本日は朝早くからありがとうございました。また、皆さんいよいよCNまで1週間がんばりましょう。(尾関)
  - ・明日からインドネシア出張でメーキャップします。宜しくお願いします。(東京西RC 岩城義親さま)
- 皆さん、ありがとうございました。

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

